

平成29年度に購入した療育用教材

・箱庭

箱庭療法に使用します。
箱庭療法とは、部屋の中にあるおもちゃを自由に箱の中に入れていく心理療法の一種です。子どもに自由な表現をしてもらうことによって、本人への理解や支援につなげていく手だてとすることができます。また、柔らかな砂を用いて気持ちのままに地形を作り、フィギュアを用いて物語を紡ぐことに、子どもたちが癒されるようです。



・平均台

正しい姿勢で立つことや机に向かって座り続ける力は、運動や将来の学習習慣の土台となります。その土台を作る運動に平均台を活用します。足の裏にしっかり体重を乗せること、自分の体の傾きをコントロールすることなどを経験します。またこの平均台は、長さを変える、上に積み上げて跨いだり飛び越したりするなど、いろいろな使い方ができます。



・スヌーズレン

1970年代半ば、オランダの知的障害施設から始まった取り組みです。様々な人たちが楽しめるように、「光」「音」「香り」「振動」「温度」「触覚の素材」このようなものを組み合わせたトータルリラクゼーションの空間が生まれました。「スヌーズレン」という言葉はオランダ語の「スヌッフレン(ククン匂いをかぐ、探索)」と「ドゥーズレン(うとうとする、くつろぎ)」という2つの言葉からつくられた造語です。
すくすくのびのび園も、皆様から頂いた寄付を活用しスヌーズレンを療育に取り入れ始めました。

